

・収益事業の概要

(1) 概 要

収益事業部（以下「事業部」という。）は専任職員2名により、中学校・高等学校及び短期大学の教科書、学用品及びスポーツ用品並びに駐車場賃貸等が売上げの中心となっている。

平成18年度は、短期大学部最後の年度で学生数の減少もあり、商品売上高が減少したが、中学校・高等学校の副読本の取扱い増加による書籍売上高が増収となり、前年度並みの売上高を確保できた。しかし、販売費及び一般管理費が前年度比増加となり、損益面で前年度比減益となった。

< 事業部の年間業務 >

4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）

中高生及び短大生教科書販売

ランチ販売

住宅・厚生貸付、生命保険、団体保険、損害保険代理店

駐車場賃貸

（以上は経常業務）

教師用教科書・指導書販売

5月 中高生スポーツ大会飲料水販売

中学学校説明会、幹事会・父母会等飲料水販売

収益事業決算

6月 短大生教科書販売終了（6月末まで）

7月 中高生夏期休暇用教科書販売

中学学校説明会入試問題集販売

8月 夏期休業

9月 中高生新年度用教科書・教材問合せ準備

10月 短大生教科書販売

中学高校体育祭飲料水販売

中学高校文化祭食堂出店・入試問題集販売

中学学校説明会入試問題集販売

11月 中高生新学期用教科書入荷

中高生用副教材発注準備・教師用指導書発注

中学学校説明会入試問題集販売

12月 中高生新学期用教科書入荷

中学学校説明会入試問題集販売

1月 中学帰国生入試関係準備

中高生新学期用副教材の発注

2月 中学入試期間物品・飲料水等販売

中学新入生教科書・教材販売

中高在校生教科書申込・集計等

3月 中高在校生教科書販売

中学高校卒業式物品・飲料水等販売

中高生新学期用物品等準備

予算編成

(2) 貸借対照表について

資産の部合計	133,810千円で、前年度比	3,824千円の減
負債の部合計	134,648千円で、前年度比	441千円の増
純資産の部合計	838千円で、前年度比	4,265千円の減
負債・純資産の部合計	133,810千円で、前年度比	3,824千円の減

となった。これは、在庫や教職員用の長期貸付金（住宅融資の一部）の減少と、販売費及び一般管理費の増加並びに事業部から法人への寄付金10,000千円によるものである。

(3) 損益計算書について

営業収益は前年度とほぼ同額であるが、法人寄付を含む販売費及び一般管理費が前年度比3,953千円の増加となった。税引前当期純利益 3,395千円であるが前年度繰越利益もあり、法人税・住民税及び事業税870千円を差し引くと、繰越利益剰余金期末残高は 3,838千円の赤字となった。

平成18年度収益事業に係る貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
流動資産	125,775,544
固定資産	8,034,897
資産の部合計	133,810,441
負債の部	
流動負債	29,914,077
固定負債	104,734,500
負債の部合計	134,648,577
純資産の部	
資本金	3,000,000
剰余金・欠損金 (繰越利益剰余金)	3,838,136
純資産の部合計	838,136
負債・純資産の部合計	133,810,441

平成18年度収益事業に係る損益計算書

(単位：円)

経常損益の部	
営業損益	
営業収益	87,400,826
営業費用	50,794,943
売上総利益	36,605,883
販売費及び一般管理費	41,736,623
営業利益	5,130,740
営業外損益	
営業外収益	1,724,622
経常利益	3,406,118
特別損益の部	
特別利益	10,900
税引前当期純利益(損失)	3,395,218
法人税・住民税及び事業税	870,700
当期純利益(損失)	4,265,918
繰越利益剰余金期首残高	427,782
繰越利益剰余金期末残高	3,838,136